

Bコース(床波～住吉)

【全1.6km】

【コースの特徴】

- ・約110年前まで小学校があった西岐波市民センター①を出発点・終点とするおすすめ4コースの中でもっとも短いコースです。
- ・まずお駕籠道(市民センター～荒人(住吉)神社)に足を踏み入れます。
- ・ここは今でも昔の商店街の面影が感じられるレトロなコースです②③④⑤⑥。
- ・皆さんの想像力によりタイムスリップできます。

【凡例】

- ① Bコース出発点・終点
- ②～⑥ コース内の名所・史跡・遺跡
- コース内の通過ポイント



① 市民センター

↓
[お駕籠道]

ポイント間 300m
累積距離 300m

② 大番様

↓
[海岸通りへ・
再びお駕籠道へ]

ポイント間 300m
累積距離 600m

③ 高札場跡付近

ポイント間 200m
累積距離 800m

④ 西光寺

ポイント間 200m
累積距離 1,000m

⑤ 荒人(住吉)神社

ポイント間 300m
累積距離 1,300m

⑥ 権代南向地藏

ポイント間 300m
累積距離 1,600m

① 市民センター



① 【錦波尋常小学校跡 (きんぱじんじょうしょうがっこうあと) (現西岐波市民センター)】

- ・明治時代になり学制が敷かれ、明治22年に新築した校舎は今の西岐波市民センターの場所にありました。
- ・当時は錦波尋常小学校と呼ばれていました。
- ・市民センター裏の石門はかつての校門の名残りです。



② 【大番様(おおばんさま)】

- ・正暦元年(990)10月に瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)、木花之開邪姫(このはなさくやひめ)を奉祭し、恵美須様(えびすさま)も、併祀されています。
- ・旧暦10月12日がお祭りで大番・鍋屋・浦安を中心にして氏子が参拝します。
- ・お祭りには南方八幡宮により祝詞をあげます。
- ・大番様は床波宮と書かれた小さな石室祠で、碑には大番神社と恵美須神社と併記されています。



③ 【お駕籠道(おかごみち)】(高札場跡付近)

- ・市民センターから鍋屋・梶取(かんどり)・向坂を歩いて荒人(住吉)神社へ行く道をお駕籠道といいます。
- ・領主福原の殿様がお駕籠に乗り通ったので、こう呼ばれています。お殿様は床波浦の堂崎の高台からの眺望、四季賛歌に恵まれた瀬戸内海の風景がひとしお、お気に入りだったようです。
- ・薬、呉服、菓子、蒲鉾、醤油、たばこ、造り酒などの店が並んでいました。